

岩手県職労

月2回刊=1500号
2018年1月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円 組合員購読料は組合費に含む

県当局「退職手当引下げ」提案打診

地公共闘・撤回求め1.23座り込み交渉を想定



▲2013年2月5日／「退職手当引下げ阻止」地公共闘・総務部長交渉での座り込み

生活と勤務意欲を奪う削減許すな

平均78万円の削減・2月議会提案か

1月9日、当局は岩手県地方公務員共闘会議に対し、退職手当の引下げを行うこと、13年間続いている給料の特別調整額(管理職手当)の独自削減措置の継続に関し、1月17日の提案を打診。地公共闘は、1月23日、30日に交渉を設定し、引下げ阻止に全力を挙げる。

①退職手当の引下げ

内容は、退職手当の算定基礎となる基本月数(57月)に乗じる調整率(現行:0.87)を0.837に引き下げ、最高支給月数を49.59から47.709に引き下げるもの(詳細な影響額は下表のとおり)

【退職手当引下げ時の実損額の試算】(行政職の例)

級	現行(A) 提案(B)	基本額(提案事項)		調整率	調整額(変更なし)		総支給額	実損額(B-A)	
		最高号給	給料月額		支給月数(57月×調整率)	調整率			調整月額
4級	現行(A)	101	387,200	49.59	0.870	27,100	60	20,827,248	▲728,323
	提案(B)			47.709	0.837			20,098,925	
5級	現行(A)	97	397,100	49.59	0.870	32,500	60	21,642,189	▲746,945
	提案(B)			47.709	0.837			20,895,244	

※勤続35年以上定年

※最終号給60月以上在職

②管理職手当の減額継続

給料の特別調整額(管理職手当)の独自削減。さらに、2月県議会に改正条例案を提案し、公布日から施行することを打診(今年度末退職予定者から引下げ対象とする)。

連合岩手2018新春旗開き 「働くことを軸とする安心社会」の実現を 参加者全員で決意固めあう

「連合岩手」の旗開きが1月6日(土)に盛岡市内のホテルで行われ、18春闘の勝利を訴えた。八幡博文会長は「今年も中小企業や非正規労働者の処遇改善に取り組む。アベノミクスの経済効果は、株主、大企業だけでなく中小企業に広がっていない」と述べ、達増拓也知事や木戸口英司参院議員らも来賓として出席し、激励した。野党共闘の在り方が見えない状況について八幡会長は「次



18春闘勝利へカンパイ

2017年度各衛生委員会の職場の安全点検実施について

事業場(衛生委員会所管)	実施回数/年	実施時期	主な指摘事項、特記事項等
本庁	1回 ※	9月	※年次計画で所属を分けて実施 落下防止措置、通路の確保、整理整頓
盛岡地区合同庁舎	2回	8、12月	整理整頓、落下防止措置
花巻地区合同庁舎	1回	7月	整理整頓、空調温度設定
遠野地区合同庁舎	1回	12月	
北上地区合同庁舎	1回	1月	
奥州地区合同庁舎	2回	9、2月	通路の確保、落下防止措置、整理整頓
江刺分庁舎	1回	11月	通路の確保、整理整頓
一関地区合同庁舎	1回	9月	通路の確保、落下防止措置、整理整頓
千厩分庁舎	1回	1月	
大船渡地区合同庁舎	1回	7月	落下防止措置、整理整頓
釜石地区合同庁舎	2回	8、12月	通路の確保、落下防止措置、整理整頓
宮古地区合同庁舎	2回	10、1月	通路の確保、落下防止措置、整理整頓
岩手地区合同庁舎	1回	12月	
久慈地区合同庁舎	1回	8月	落下防止措置
二戸地区合同庁舎	1回	9月	通路の確保、整理整頓
環境保健研究センター	2回	未定	
農業大学校	1回	9月	落下防止措置、キャビネット転倒防止措置
水産技術センター	1回	1月	
産業技術短期大学校	1回	7月	整理整頓、設備の破損、不要物品処分
福祉総合相談センター	1回	9月	通路の確保、落下防止措置 キャビネット転倒防止措置
農業研究センター	1回 ※	11月	※年次計画で所属を分けて実施 設備の破損、不要物品処分
畜産研究所	1回	9月	整理整頓、設備の破損

の参院選が1年半後に迫っており、時間的余裕はない。安倍政権による憲法改正の動きが現実味を帯びてきており、勢力を再結集すべきだ」と述べた。

職手当)の独自削減は13年目であるが、来年度も今年度と同様の引下げ率(部長・副部长級▲5%、総括課長級▲3%)で実施する。

「提案内容の問題点」
退職手当に関し、地公共闘では秋の確定闘争期に知事あて「イエローカード」を提出し、5年前の400万円の引下げや給与制度の総合的見直しによる賃金引下げ等で職員の勤務意欲が大幅に低下していると、引下げ提案しないよう強く求めてきた。しかし、今回の当局姿勢は組合員の切実な要求を無視し、国公に追随したものと云わざるを得ず、断じて許してはならない。さらに、今年度の退職者から対象とする内容だ。勤務意欲の失墜と退職後の生活を直撃するもの。何としても阻止しなければならぬ。管理職手当の独自削減も財政難を理由とした人勧制度によらない独自削減であり、来年度も実施となれば14年目となる異常な状況だ。

定期健康診断は、健康事後措置不要D3者が702人(前年666人・36人増)、事後措置者B・C判定者が2,423人(前年2,400人)と報告があった。

県職労は、長期療養者は特に20代で増加傾向となっており、職場復帰の具体的な取り組みを求めた。ストレスチェックの報告は、高ストレス者の割合は6.9%増(292人(前年265人・27人増))と報告が

12月27日(水)、議会議棟第2会議室を会場に、第2回職員安全衛生管理委員会が開催された。

委員会は、本年度の健康管理の取組みの中間報告と各職員衛生委員会における安全点検実施状況について報告があった。

59人・36人減)との報告があった。精神疾患による療養状況は、2017年11月末現在で療養総人員42人(前年40人・2人増)、療養総日数4,188日(前年3,911日・277日増)と療養者数及び療養日数が増えている。

高ストレス職場は考慮が必要 若年層の「精神疾患」増加傾向に

第2回 職員労働安全衛生委員会

【今後の闘争】
地公共闘は1月17日の交渉を経て、23日ヤマ場の人事課長交渉に県庁座り込み下げ阻止に全力を挙げる。

あり、年々職員の高ストレス度は高まってきている。県職労は、若年層を中心に高ストレスと判断されても面接指導を受信するか迷うケースもあることから、ゲートキーパーの育成等の具体策を求めた。

各地区の職場の安全点検結果を踏まえ、設備補修などの必要な箇所に対し、県職労から管財課に対し、各地区の予算要求状況を確認し、改修に向けた対応を行うよう要望した。

図1 2017年度ストレスチェック地区別実施結果

地区	受検者人数	2017年度		面談申出者数	高ストレス者割合上位
		高ストレス者人数	割合		
本庁	1,527人	111人	7.3%	12人	3位
県央	628人	42人	6.7%	2人	
中部	364人	22人	6.0%	3人	
奥州	316人	18人	5.7%	3人	
一関	206人	17人	8.3%	1人	2位
大船渡	227人	16人	7.0%	0人	
釜石	256人	15人	5.9%	2人	
宮古	331人	22人	6.6%	0人	
久慈	193人	11人	5.7%	0人	
二戸	190人	18人	9.5%	2人	1位
県全体	4,238人	292人	6.9%	25人	

第五世代

穏やかな新年がスタートした。箱根駅伝は、激戦の結果、青学大が4連覇の総合優勝に輝いた。さらに今年ロサンゼルス・エンゼルスに移籍した大谷翔平選手の活躍も期待だ。今年もスポーツの明るい話題で盛り上がるに違いない▼東京オリンピックの準備がヤマ場だ。その中で新国立競技場建設では昨年20代の現場代理人の過労自殺が発生。オリンピック成功の大義名分のもと労働者は過重労働を強いられる状況だ▼オリンピックは世紀の「檜舞台」。その背景には懸命に支えようと踏んばる多くの労働者がいることを忘れてはならない。岩手国体から2年が経過する。国体成功という大義名分で過重な働き方を強いられた。しかし、国体が成功し、2年が経過するなかにあつて未曾有な働き方の教訓が風化している感はない▼岩手国体のレガシー継承と東京オリンピック等に向けスポーツ振興が本格化している。これ自体は否定しないが、大義名分のもと労働法規が軽視され、労働者に負担を強いることがあつてはならない。今年こそ私たちにとっての「働き方改革」の実現の年とすることが重要だ。

組合員の「声」直接手渡し改善求める

久慈支部 振興局長・経営企画部長、花巻支部 総務センター所長と交渉

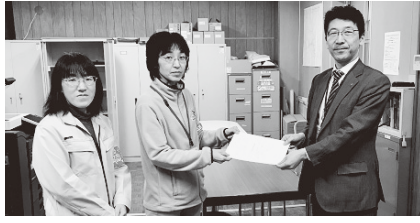
久慈支部では12月27日に県北局長交渉を実施。人員確保・超勤課題、庁舎の修繕等を要望し、前進回答を得た。花巻支部では12月13日に庁舎修繕等の要求書を手巻・遠野合庁管理者に提出。改善を求めた。

久慈支部

組合員アンケートで要求事項を集約し、「支部独自



▲振興局長(右奥)交渉に臨む久慈支部執行部



▲宮花巻総務センター所長(右)に要求書を手渡す須賀支部長(中)と多田書記次長

要求書」を作成、提出のうえ、12月27日に交渉を行った。八重樫県北局長交渉では、

超勤が多い職場へのヒアリングを実施し、超勤縮減に向けて取り組んでいる。ま



▲小田島遠野土木センター所長(左)に要求書を手渡す花巻支部・佐々木執行委員

十分な人員確保と慢性的な超勤勤務解消に向けて改善を要求した。八重樫局長からは「欠員は解消すべきであり、強く要求していく。

た、連続して単身赴任をしている職員への配慮を要望している」との回答を引出した。藤本支部長からは、「久慈は単身赴任者が多い。そのため、庁舎(公舎・住居)が重要になってくる。また、単身赴任に伴う課題も多い。今後も支部独自の課題は、支部要求として提出していきますので、対応をお願いする」と要請した。

庁舎・公舎の環境改善を柱とする和山経営企画部長交渉では、「故障・修繕箇所については、予算要求をしながら優先順位の高いものから行っている。今年度出来なかつたところについては、引き続き予算要求等をして、改善改修に努める」との回答を引出した。庁舎管理などで要求した項目の改善が実現できており、支部独自の組合員の切実な声を

花巻支部

花巻支部は昨年12月13日、組合員アンケートや支部役員・分会役員の意見交換会を通じて集約した地区ごとの独自要求書を、花巻総務センター所長及び遠野土木センター所長に提出した。

花巻地区では、岩手中部クリーンセンターに廃棄文書を持ち込めなくなったことを踏まえ、総務センターが窓口となり共通の処理・運搬方法を検討するよう要求したほか、遠野地区では自動販売機の公募化反対の意見を盛り込んだ。

各要求書に対する回答は1月中旬を予定しており、組合員に報告・共有化することとしている。

欠員の解消・専門職の処遇改善を 各支部 決意も新たに「旗開き」

県職労の旗開きが1月9日(火)の県庁・盛岡支部合同開催を皮切りに、10日二戸支部、11日一関支部、釜石支部、久慈支部と行われ、春闘に向けて、賃金引き上げ、長時間労働是正などを訴えた。

県庁・盛岡支部合同の旗開きでは、小西和子県会議員や中村とおる盛岡市議会議員、二戸支部では鈴木忠幸二戸市議会議員らも来賓として出席し、組合員と意見を交わした。

勝利に向け、月例給・一時金の引き上げ、欠員解消及び専門職の処遇改善による人員確保を進めていく。

体制や超勤など他県との違いに驚き 学んだことを今後につなげたい

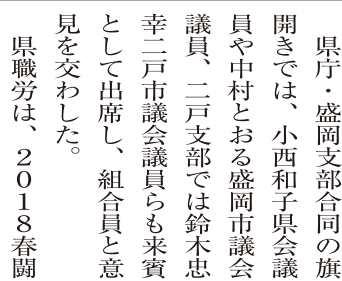
18年度全国福祉事務所児童相談所交流会参加報告

自治労全国福祉事務所・児童相談所交流会は10月14日・15日の両日、東京・連合会館で開催され、生活保護制度の実施を担うケースワーカーや子どもと家庭を支援する児童福祉司の組合員173人が参加した。(県職労からは一関児童相談所の西島聡子さん、對馬恵美さんの2名が参加)

辛くてもSOSを出せない児童を支援するために、援助者として誰にどのように手を差し伸べるべきか考える必要がある。保健・医療・福祉の連携が求められることを学んだ。

2日目の分科会では、改正児童福祉法及び新しい社会的養育ビジョンに関わる他県の取り組みについて、様々な職種の方と情報交換することができた。他県でも児童虐待通告件数の増加に伴い、職員が対応に追われていることを知った。そ

今回の学びや気づきを今後につなげていきたいと思う。



じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

自治労共済生協組合員なら

契約者=組合員で 家族の車も **団体割引15%**

主たる被共済者になれる方

1 組合員本人

2 組合員の配偶者

3 組合員の同居の親族*

4 組合員の配偶者の同居の親族*

*別居の未婚の子も含まれます。

※現在ご加入の保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、ご契約をお引き受けできない場合があります。

ZENROSAI NEWS 5116A230

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は、安楽を目的とし保険の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。